



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

シンポジウム

SDGsへの挑戦/目標13「気候変動」

キリバスの事例から



Photo:キリバス共和国名誉領事館

小さな島々から国土が構成される島しょ国は、気候変動に伴う海面上昇によって、国土浸食の危機にさらされています。南太平洋に位置し、33の環礁から成るキリバス共和国でも、その危機は深刻なスピードで進行しています。

本シンポジウムでは、キリバス共和国の気候変動NGOや行政機関等による報告や、UNU-IASによる取り組みの紹介を通じて、持続可能な開発目標（SDGs）の目標13「気候変動」および気候変動枠組条約における「パリ協定」の達成に向けて、どのようなパートナーシップが必要かを考えます。

登壇者

ケンタロ・オノ キリバス共和国 名誉領事館名誉領事・大使顧問

メーレ・リーワタ KiriCAN 理事

キレウア・グレイモア

キリバス共和国 インフラ・持続可能なエネルギー省エネルギー計画局長

リザンヌ・グルエン JSPS-UNU フェロー

トアキ・アリノコ KiriCAN 理事・技術職

2017年10月20日(金)

14:00-17:00

場所

国連大学
エリザベス・ローズ国際会議場(5F)
東京都渋谷区神宮前5丁目53-70

参加を希望の方は、UNU-IASのホームページから事前登録を行ってください。定員に達した際には、事前登録を終了します。あらかじめご了承ください。同時通訳があります。

主催

国連大学サステイナビリティ高等研究所(UNU-IAS)
地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)

協力

東北環境パートナーシップオフィス(EPO東北)